愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	ソーシャルワーク論		
担当者(Instructors)	藤沢 真理子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

ソーシャルワーク(社会福祉援助技術)の理論と方法を学ぶ。今後幅広い分野で学生が活動する時に役立つように、具体的な事例を通して考える。

■授業形態・授業の方法(Class form)		
授業形態(Class form)	講義	
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる	

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	ソーシャルワーク(社会福祉援助技術) とは	今後の講義の概要・予定と授業でのルールを把握する	
第2回	ソーシャルワークの歴史的展開	ソーシャルワークの歴史を理解する	
第3回	ソーシャルワークの体系	ソーシャルワークの基本要素と体系について理解する	
第4回	ソーシャルワークの展開過程	ソーシャルワークのプロセスについて学ぶ	
第5回	ケースワーク(個別援助技術)	ケースワーク(個別援助技術)について理解する	
第6回	ケースワークの事例	ケースワークの事例を通して、実際の援助方法を学ぶ	
第7回	グループワーク(集団援助技術)	グループワーク(集団援助技術)について理解する	
第8回	グループワークの事例	グループワークの事例を通して、実際の援助方法を学ぶ	
第9回	コミュニティワーク(地域援助技術)	コミュニティワーク(地域援助技術)について理解する	
第10回	社会福祉調査法	社会福祉調査の方法を学ぶ	
第11回	社会福祉計画法	社会福祉計画法について理解する	
第12回	ケアマネジメント	ケアマネジメントの方法を学ぶ	
第13回	コミュニティソーシャルワーク	今、現場で求められているコミュニティソーシャルワークの技法を 学ぶ	
第14回	コミュニティソーシャルワークの事例	コミュニティソーシャルワークの事例を通して、実際の援助方法を 学ぶ	
第15回	社会福祉援助技術のまとめ	社会福祉援助技術で基本となる考え方をまとめる	

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として、テキストから次回の講義内容に関連する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学習(読んで要約)を課す。事後学習として、講義の復習をすると共に課題レポートを2時間程度でまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会をもつ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)			
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)	
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	ソーシャルワークに関する専門的知識・実践的能力を身につけることができる	

主体性 🔷 20	019人間健康DP3	ソーシャルワークについて多様な価値観を有し、 ができる	自発的に人々と協働して地域貢献
----------	------------	--------------------------------	-----------------

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in- class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験は各回小テストを実施する。その他はまとめレポートを実施する。

■テキスト(Textbooks)			
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)	
1	よくわかる社会福祉 第11版	978-4-623-07676-5	
2			
3			
4			
5			

■参考図書(references books)			
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)	
1	適宜授業で紹介		
2			
3			
4			
5			